

# 脱サラ 起業 ここがポイント



しゅんじ  
公認会計士・税理士 木村俊治

起業するとき、何に苦勞したそうぞうです。

勞するでしょうか？ 曰 私が、起業を目ざす人本政策金融公庫の「20 から相談された実際の内14年度 新規開業実態 容も、似たりよったりで

3割超の方が苦

調査」による。一番多くの人が苦勞す。半分近くの人が回答したの「資金繰りと資金調達」ですが、起業するとなると、何から何まで自分でお金を用意し、支払う必要があります。支払う必要がありません。その中には「盲点」がある。拡大」です。次に多かったのが「財務・税務・法務に関する知識の不足」で、

「顧客・販路の拡大」です。次に多かったのが「財務・税務・法務に関する知識の不足」で、3割超の方が苦

理由がすぐわかりました。相談者は税金を滞納していたのです。

## 税金を滞納してどうなる？ 資金調達が難しい

起業時に借りられるか否かは、①自己資金があること②税金を滞納していないこと③カードローンで事故をおこしていないことです。将来よりもむしろ過去をみられるのです。

そして、資金繰りのアドバイスとしては、起業時点に必要な設備資金だけでなく、将来の事業運営にかかる資金も調達しておくことが大事です。専門家、もしくは実際に資金調達したことがある起業の先輩に話を聞いてみるのが一番です。

次は「顧客・販路の拡大」ですが、皆さん、最初の1〜3年はこの顧客・販路の確保に一番苦勞しています。資金調達などは専門家を使うことである程度解決しますが、顧客・販路の確保は、起業家が自らやらなければなりません。起業に失敗する大きな理由は、当初思い描いているほどは顧客・販路を確保できず、その結果、お金が尽きてしまうことです。起業し、事業を継続している人は常に顧客・販路拡大の努力をしています。努力を続けられるかどうか

が成功の大きなカギなのです。そして「財務・税務・法務に関する知識の不

「足」ですが、会社を辞めて、自ら起業するといろいろ知らないことが出てくるのが事実です。会社を設立した時には、税務署に各種届け出が必要になりますし、社会保険関係の手続きも必要です。人を雇っても各種届け出が必要になってきます。

また、財務の知識も必要になってくるのですが、なかなか片手間では身につかないのも事実です。このあたりは、何から何まで自分でやろうとする

と、いつまでも起業すると、いつまでも起業する気になれませんから、お金はかかるかもしれませんが、専門家をうまく使うことです。

とくに税金については、知識がなくて余分に払いすぎてしまったという方が少なくありません。専門家を使うことが、結局は、時間やお金を節約にもつながるので

次回、国など公的機関の支援の種類について説明します。

(隔週掲載)